

	発行者の略号	東書	開隆堂
	書名	NEW HORIZON Elementary English Course (5・6)	Junior Sunshine (5・6)
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	「みんなが英語を好きになる！」をキャッチフレーズに、「もっと学びたい！」を育て、「何ができるようになるのか」が分かり、「どのように学ぶのか」を示す教科書となっており、工夫されている。	「意味のある、生きたコミュニケーション」「『読むこと』『書くこと』の基礎を養う」「児童の日常生活に密着した題材」を基本方針として編修されており、工夫されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① Picture Dictionary を別冊で作り、小学校外国語全般をとおして学習する単語や表現を、いつでも活用できるように工夫されている。また、Picture Dictionary で提示してある英単語は4線上に表記されていて、正しく書き写すことができるので、生きて働く知識・技能を取得することができる。 ② 各ユニットの最後の Over the Horizon コーナーで、児童が発見したり疑問に思ったりして心を動かした体験をもとに世界に羽ばたく未来を考えるきっかけ作りを行っている。また、CLIL(内容言語統合型学習)を充実しており、他教科で学んだ題材での協働学習を行うことができる。 ③ 英語を使って将来したいことを最初に記入する欄があり、英語を学ぶ目的を確認してから実際の学習に入る工夫・配慮がなされている。	① 場面シラバスで構成されており、文法中心の教え方とはならないように工夫してある。覚えるだけの英語学習とはならないように配慮されている。 ② 各学年2回ずつの「Project」でそれまでに学習したことを生かして取り組む活動が用意されている。 ③ 文法指導中心とならないように配慮し、新出の表現は必然性を持たせ、児童がやりとりしたい活動を通して無理なく学べるように配慮されている。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	① 小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の、「自ら考え表現する力」など五つの側面に合致している。	① 小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の、「自ら考え表現する力」など五つの側面に合致している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① コミュニケーション活動は、十分にインプットされた知識をアウトプットするように設定されているため、無理なく主体的に学べるように工夫されている。 ② CLIL(内容言語統合型学習)専門家の助言のもと、国語科、社会科、算数、家庭科、理科、図画工作科、音楽科などとの関連が図られている。また、短時間学習や60分授業などの実施に適した紙面構成となっている。 ③ 日本語と英語を比べて語順の違いに気付きを与えたり、英語特有のリズムに注意したりするコーナーを設け、国語科との関連を図る工夫がなされている。 ④ 世界に日本の良さを発信しようとする児童を育てられるよう、伝統や文化に関する題材を豊富にとりあげている。 ⑤ 児童がどのように伝えていけばいいか体験的に考えられるように、相手に何かを伝えてコミュニケーションをとる活動において、実際の生活で体験するような場面が随所に設定されている。 ⑥ 中学年や中学校、高等学校との接続を意識して、おさえておきたい日本語と英語のイントネーションや語順の違い、書くときのルールなどを扱っている。また、別冊 Picture Dictionary は、中学校の学習を見据えた語彙が収録されている。 ⑦ 様々なコーナーに QR コードが設置され、英語学習に不可欠な音声や映像を提供しているので、必要に応じて活用することができる。 ⑧ 学習要素が全て定位置に示されている。また、書体は児童がそのまま書き写して学べる新ユニバーサルデザイン書体で、4線ノートの幅や線種、基線の色使いも配慮されている。 ⑨ 各学年8つの Unit が、5年生では「自分」「地域」「日本」を紹介することをテーマに大きくくりこみに組まれており、6年生では、「世界の国々」「世界と日本」「中学校への扉」をテーマに大きくくりこみに組まれていて、内容ごとにまとめられている。また、各 Unit が「出会う」「慣れる」「楽しむ」「広げる」「確かめる」の段階を追う構成になっており、とても学びやすい。	① ペアやグループで行う活動が数多く設定されており、児童どうしが教え合い学び合う中で主体的・対話的に深く学べるように配慮されている。 ② 社会科、理科、図画工作などの、他教科との横断的な学習ができる活動が設定されている。該当箇所には、教科マークがあり、わかりやすい。 ③ 教科書後半に「文字に慣れよう」のコーナーがあり、「読むこと」「書くこと」を系統的に学習できるように工夫されている。通常課にも、題材に深く関連した「読み」「書き」の活動が設定されている。 ④ 日本のことを紹介したり、日本と世界の文化を比べる単元で、自国の伝統・文化について再発見できる作りになっており、日本の伝統的な文化を発信する力も身につけられるように配慮されている。 ⑤ 児童が自分の考えを相手に伝えるという目的を持ちながら活動できるように、興味関心のある状況を設定し、下層の場面の中で色々な役割や立場を疑似体験できる構成になっている。 ⑥ 中学校に進学した際に、「読むこと」「書くこと」でつまづかないよう、「文字になれよう」という特設コーナーが設けられていて、音と文字の関係や英語で書くときの基礎的なルールを段階的かつ系統的に学習することができる。 ⑦ プログラミング的思考を育てる教材が用意されている。また、聞く活動については QR コードで繰り返し学習することができる。 ⑧ 児童が「読み」「書き」しやすい書体の開発・採用を行っている。 ⑨ 全ての課において、導入の Let's Listen から出口の Let's Try に向けて、段階的でスパイラルなわかりやすい構成になっている。課の最後には学びの振り返りを記入するコーナーも設定されている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮されているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 分量と配分は、無理のない程度に設定されている。 ② 体裁は A 判で「カラーバリエーションを含むユニバーサルデザインに配慮しています。」「特別支援教育の観点から読みやすさと書きやすさを追求したユニバーサルデザインフォントを、欧文にも使用しています。」「鉛筆による筆記適正(書きやすさ)を高めた新開発の用紙を使用しています。」「再生紙・植物油インキを使用しています。」と書いてある。巻末についているカードが点線入りで、はさみを使わなくても切り取れるようになっている。Picture Dictionary が別冊で用意されているため、書き写し等がしやすい。 ③ 活動の内容が、それぞれの記号で示されている。当該学年以上の漢字にふりがながついている。	① 分量と配分は、無理のない程度に設定されている。 ② 体裁は AB 版で「カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように配慮をしています。」「特別支援教育の観点から、書かれている内容が読み取りやすくなるように配慮をしています。」「環境に配慮した用紙やインキを使用しています。」と書いてある。 ③ 活動の内容が、それぞれの記号で示されている。当該学年以上の漢字にふりがながついている。	
イ 教科・種目別の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の動き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	① 「Starting Out」の映像資料でストーリーを確認し、使用場面を明示している。豊富な歌やチャンツは、慣れ親しみや振り返りに有効である。また、児童が友達や先生について知りたくなるしかけて思考力・判断力・表現力を働かせて言語材料を使う場面が繰り返し登場するので、全体としてコミュニケーション能力の基礎が確実に身に付くように工夫されている。読み書きの指導については、必然性のある楽しい学び合いを通じて他者や自分を大切にすることをコミュニケーションにつなげる工夫がされている。	① 児童の学校生活に即した題材を配列する工夫がされており、児童の興味・関心に沿った学習を展開することができるように配慮されている。各単元において、単語の習得から表現の習得へと、易から難へ配列がなされており、無理なくゴールの自己表現活動につなげられるように配慮されている。巻末のふろく「この教科書で学んだことリスト」で、自分ができるようになったことを確実にチェックできる工夫がされている。
	②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	② 文部科学省発行の中学年外国語活動教材「Let's Try！」で慣れ親しんだ言語材料を、各 Unit 導入パートの音声でスパイラルに取り扱うことによって振り返り、円滑な接続ができるように構成されている。また、外国語活動の授業によって養われた英語の音の素地を、Anilals Jingl などのコーナーを通じて、文字と結びつけ、単語を見て発音を予想しようとする練習ができる工夫や配慮がなされている。	② 5年生の冒頭では、小学校中学年の外国語活動で扱った内容を振り返ることから学習を始めることで、無理のない接続を図ることができる作りになっている。
	③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③ 各単元末に、児童が、社会科などの他教科の知識や既習事項を踏まえ、外国の生活や文化をより深く理解し、尊重する心を育めるように、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら読み進められる異文化情報コーナーが設けられている。また、教科書全体が国際理解を深めることにつながるような構成となっている。グローバル社会の一員として、すべての人権を等しく尊重する意識を醸成できるように配慮されている。	③ 5年生では、主に身近な社会との関わりを意識することを全体のテーマとし、「自分の町紹介」などの活動を通じて、わが国と郷土を尊重する意識を育成する工夫をしている。6年生では、世界との関わりを意識することを全体のテーマとし、日本のことを英語で紹介する活動に取り組んだり、世界の衣食住の文化を知る活動を行ったりすることにより、国際社会の一員である意識の素地を養えるように配慮している。

	発行者の略号	学図	三省堂
	書名	JUNIOR TOTAL ENGLISH	CROWN Jr. (5・6)
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	「多様性を前提とした問題解決能力の育成」を共通理念とし、「つかむ」「使う」「広げる」の学習段階を追った編修となっており、工夫されている。	英語教育をとおして、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と豊かな人間性を育成することを小・中・高と一貫した教育理念をもとに編修され、HOP、STEP、JUMPと段階的に子どもたちが英語を学習できるよう工夫されている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 音声によるインプットと、繰り返しと気づきを基本にし、英語を使いながら身に付けていく帰納的な学びを基本として作られている点が工夫されている。 ② 英語を通して学びを広げようとする姿勢が育てられる構成となっている。 ③ 英語やその文化に興味を持ち、学びを広げようとする姿勢を育てる構成になっている点が工夫されている。充実した学習活動となるように、目標表現などの自分で確認できる程度の音声以外はQRコードで掲載していない。	① 様々なコミュニケーション活動が設定されている。また、「話す」「聞く」を中心に、「書く」「読む」活動も設定されており、複数技能を統合した活動で、運用力を強化することができる。 ② 目的や場面を意識しながら、今までの学習を生かして取り組めるように工夫されている。さらに、JUMPの部分は2段階に設定されているので、1回目ですでできなかったことも、修正して2回目に再チャレンジすることができるよう配慮されている。 ③ 子どもたちが「学びたい」と思えるような知的で楽しい活動が多数設定されている。また、子どもたちが世界に目を向けられるような題材や他教科にもつながる題材も扱っており、学ぶ意欲を高められるよう工夫されている。
	（4）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	① 小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の、「自ら考え表現する力」など五つの側面に合致している。	① 小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の、「自ら考え表現する力」など五つの側面に合致している。
	（ウ）内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 繰り返しと気づきを重ねることで主体的な活動を促し、より深い理解へと導いていく構成になっている点が工夫されている。 ② レッスンごとのアクティビティーや、コラムをとおして、社会、音楽、算数、理科、国語、図工等各教科との横断的な指導が可能となっている。 ③ 音声、読み・書きの指導内容が、スパイラルに繰り返し扱われることで、確かな英語力の基礎が身に付けられるように配慮されている。 ④ 日本の伝統や文化を扱うLessonが各学年に設定されていて工夫されている。 ⑤ 体験的な学びを通して英語の表現が定着するように、各単元におけるまとめの段階において、音声教材を中心に繰り返し言語活動を行い、発表する場面が随所に設けられている。 ⑥ レッソンの歌の中で、中学校で学習する文法もフレーズで覚えることができ、中学校での文法的な理解に役立つように配慮している。また、6年生Lesson10では、中学校生活について扱っており、コラムでは、中学校修了時の姿を示し、学習意欲を高める工夫をしている。 ⑦ クラスルームイングリッシュは、各レッスンの目標文にQRコードが設置され、英語学習に不可欠な音声や映像を提供しているので、必要に応じて活用することができる。 ⑧ UDフォントを使い、カラーユニバーサルデザインを採用している。また、書きやすい独自の4線を採用している。 ⑨ 各レッスンの題名が、ほぼ疑問文となっており、英語でのやりとりを促す形となっている。最初にそのレッスンの目標と学習の進め方が書いてあり、見直しをもって学習を進めることができる。また、最後には、振り返りコーナーがあり、自己評価を記入することができる。	① 目標・見直し・ふりかえりという学びのプロセスを大切にしている。また、自分の気持ちや考えなどを伝え合う言語活動が設定されており、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう工夫されている。 ② 他教科、道徳、総合的な学習の時間との関連を意識した題材が取り上げられており、学習効果上がるよう工夫されている。 ③ 2学年をとおして、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質、能力を身に付けられるようになっている。チャンツの音声やリズムがわかりやすいのでコミュニケーションを図る基礎となる資質、能力を身につけやすい。音声聞き取りやすい。 ④ 時差や世界の国々の特徴を知ったり、日本のよさを世界にアピールする練習をしたりと、日本の伝統的な文化および他国の文化の尊重、国際的な視野などを育成できるよう、題材が配置されている。 ⑤ ペアやグループワークが多く配置され、コミュニケーションの体験をとおして子どもたちが外国語を学ぶことができるようになっている。 ⑥ 中学校で本格化する「読む」「書く」活動につなげるため、子どもたちが無理なく習得できるような活動が設定されている。 ⑦ 教科書の絵を見ながら、必要な情報を子どもたちが探したり選んだりし、それを友だちに伝える活動が多く設定されている。また、QRコードを読み取ると音声が開けるようになっており、絵辞典として活用できる。 ⑧ 識別しにくい配色を避けて、形や記号などの補助的な手がかりを設けている。 ⑨ 大単元がHOP、STEP、JUMPの3段階になっていることで、子どもたちが見直しをもって学習に取り組めるようになっている。
（イ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 分量と配分は、無理のない程度に設定されている。 ② 体裁はA判で「この教科書は、環境に配慮した神と植物油インキを使用しています。」「この教科書は、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの人に見やすいように配慮して作成しました。」と書いてある。 ③ 活動の内容が、それぞれの記号で示されている。当該学年以上の漢字にふりがながついている。	① 無理のない程度に設定されている。 ② 体裁はAB版で、図や文字が見やすくなっている。文字を書く際、第2線と第3線の間幅が少し広がっていることで、子どもたちにとって書きやすくなっている。 ③ 当該学年以上の漢字にふりがながついている。読みの抵抗を軽減できるよう配慮されている。写真や図が多く、児童が絵と言葉をつなげながら理解することができる。	
（イ） 教科・種目別の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の動き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	① 各レッスンのタイトルは、疑問文となっていることが多く、(5年生については、全て疑問文)実際のやりとりを促すような形となっている。実際に使うことを通して英語を身に付けられるように、相手や場面を意識して英語を使う活動が用意されている。スモールトークのコーナーでは、友達どうしてやりとりができるように工夫されている「読むこと」「書くこと」については、2学年をとおして、内容を繰り返しスパイラルに扱い、確実な定着を狙っている。	① HOP、STEP、JUMPの中に、5つの観点それぞれバランスよく配置されている。Listen & Talk→Enjoy Listening→Talk to Friendsの流れの中で、既出表現になども触れ、インプットとアウトプットが繰り返されることで習熟を図れるようになっている。
	②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	② Book1(5年生)のPre-lessonでは、中学年・外国語活動で学習した表現をまとめて復習できるように工夫している。また、レッスン中でも、外国語活動で学習した表現を繰り返し学習できるように工夫している。	② 小学校外国語活動で触れてきた単語や表現の主なものに触れながら、コミュニケーションをすることの楽しさ、大切さを確認できるように配慮されている。大単元の中のHOP(導入)の部分では、子どもたちが4年生までに育んできた力でできることを確認することから始まっている。
	③国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③ コラムでは、世界の文化や風習、その背景にある思いに触れ、児童が多様な考え方に気づき、豊かな心情が育つように配慮している。伝統文化交流会やイタリアからの児童との交流会を通して、日本の伝統文化への関心を高め、理解を深められるように配慮している。また、コラムでは様々な国の紹介をしており、児童の関心が高まるように工夫している。	③ 各学年にコラムが2つずつあり、英語を学ぶことの意味やおもしろさへの気づきを促している。世界の国のあいさつや、世界の国の町の様子写真などが教科書冒頭にのってあり、子どもたちが世界に興味をもつきっかけとなるよう工夫されている。また、子どもたちにとって身近な学校生活についても取り上げ、世界各国の様子を知ることができる。登場人物の性別、出身地域の偏りがないように配慮されている。

	発行者の略号	教出	光村
	書名	ONE WORLD Smiles (5・6)	Here We Go! (5・6)
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	学校生活に合った活動、気づきや関わり合いを大切に活動、考えを深める場面を随所に盛り込んであり、子どもたちの「楽しい」「やってみよう」という心の動きを大切に内容になっている。	① 「豊かな心」「言葉を使う力」「学びたい意欲」を育むことを基本方針とし、世界の広さを実感したり、楽しみながら言葉を使ったり、学びたい気持ちを引き出したりするように工夫されている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	① 音声と文字を丁寧に学べるよう、短時間学習でも扱える構成になっている。 ② 各単元にLet's thinkコーナーがあり、言語や文化、コミュニケーションについて考えを深める機会が設けられている。 ③ ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動、協力しながらの活動を多数設定している。自分との共通点や違い、友だちの良い点に気づきながら、自尊感情を高めたり他者理解ができるよう工夫されている。	① 豊富に用意されたチャンツや歌、絵本教材や絵辞典で基本表現を着実に習得できるように工夫されている。また、「文字遊び」や「ペンマンシップノート」が用意されており、アルファベットや語彙の習得にも配慮されている。 ② CLIL(内容言語統合型学習)の考えを取り入れ、他教科で学んだことを生かせる活動を留意しており、知的好奇心に訴える活動を楽しみながら思考力・判断力・表現力を養えるよう工夫されている。 ③ 5・6年を通して一貫したストーリーになっていて、登場人物に親しみ、意欲的に学習できるように配慮されている。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	① 小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の、「自ら考え表現する力」など五つの側面に合致している。	① 小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の、「自ら考え表現する力」など五つの側面に合致している。
	(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑨児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	① 目標が明示しており、振り返り表が各単元の最後にあるので、子どもたちが自分の学びを振り返りながら学習に取り組むことができる。 ② 他教科、道徳科、キャリア教育などの総合的学習の時間との関連を意識した題材がとりあげられている。10～15分で行える活動が設定されており、短時間学習にも配慮されている。 ③ 文構造や基本的な表現の定着を図る活動が、段階を踏んで設定されている。また、各単元は、インプットを十分に行った後にアウトプットをする構成になっているので、子どもたちが十分に慣れ親しんだ言語を読んだり書いたりすることができるようになっている。 ④ 農産物や世界遺産を含む各地の名所や名物を取り上げている単元がある。Let's Look at the Worldのコーナーがあり、言語や文化、世界とのつながりへの気づきにつながる。 ⑤ 各単元内にペアやグループで取り組むコミュニケーション活動、協力しながら行う活動が設けられており、実際にコミュニケーションをする機会が豊富に取り入れられている。 ⑥ 辞書の使い方について触れている。自分の思いや考えを表現する際に参照するページとして有効である。 ⑦ 「まなびリンク」ページのQRコードとURLが目次に掲載されており、子どもたちが音声や映像を視聴できるようになっている。 ⑧ カラーユニバーサルデザインを用い、専門機関による審査を受けて認証マークも示されている。 ⑨ クラス内での自己紹介から、学校や地域、国内、海外へと、学年や単元が進むにつれて徐々に視野が広がっていくような構成になっている。	① 「Let's try.」や「You can do it!」では、グループでの協働学習を積極的に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がなされている。また、機械的な練習ではなく、予想してから尋ね合うなど、考える活動になるように配慮されている。 ② 他教科(国語・社会・理科・家庭科・図工・体育など)との関連が図られ、教科横断的に学習を計画できるように配慮されている。また、学校の実態に合わせて、短時間学習にも対応できるように配慮されている。 ③ 聞く活動→チャンツ→練習→コミュニケーション活動→書く活動とスモールステップを踏んだ活動が組まれている。表現や語彙の配列や選定を工夫し、スパイラル的に学習を進めることで、無理なく着実に定着できるように配慮されている。 ④ 日本の伝統文化、郷土を愛する態度を養うことができるユニット、世界で活躍する日本人を題材にしたユニットが用意されている。 ⑤ 児童が楽しみながら学ぶことができるよう、世界の小学生の映像や音声を用意されており、児童と同年代の小学生の実際の考えに触れることができるように工夫されている。 ⑥ 6年のユニット9では、実際の中学生が学校生活を英語で紹介する映像が用意されている。また、巻末に「中学校に向けて 英語の学習を続けていこう」「学びのパスポート」など、学年末に自身の成長を振り返り、中学校での学習に生かすことができるように中学校への接続が図られている。 ⑦ 全ユニットに映像資料を用意している。また、様々なコーナーにQRコードが設置され、英語学習に不可欠な音声や映像を提供しているため、必要に応じて活用することができる。 ⑧ 4線の幅に対応したアルファベットのフォントを開発し、日本語はユニバーサルデザインの書体を使用している。カラーユニバーサルデザインやレイアウトの統一など、全ページにわたってユニバーサルデザインの観点に立って編修されている。 ⑨ 各学年9ユニットが、Hop!→Step→Jump! で構成され、単元を見通して学ぶことができるよう工夫されている。言語習得理論に基づいた単元の流れとなっている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	① 無理のない程度に設定されている。 ② 体裁はAB判で、カラーの写真や絵が多く使われている。巻末のカードはミシン目になっており、切り離して使いやすい。また、巻末のワークシートが充実している。活動用シールは、子どもたちが楽しみながら取り組むことができる配慮がされている。裏表紙の記名欄に4線があり、児童がアルファベットで名前を書きやすいよう配慮されている。 ③ 書くときに近い書体で書かれているので読みやすく、書き写しやすい。ユニバーサルデザインフォントが使われている。当該学年以上の漢字にふりがながついている。	① 分量と配分は、無理のない程度に設定されている。 ② 体裁はAB判で、「カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、すべてのページについて専門家による校閲を行っています。」「英文には活字体と書き文字との差異の生じない書体を独自に開発し、使用しています。」「日本語の文には、見やすいユニバーサルデザイン書式を使用しています。」「環境に配慮した紙、植物油インキを使用しています。」と表記されている。 ③ 当該学年の当漢字には振り仮名を付けてある。大判のイラストや小さくてもわかりやすい写真を用いている。活動がわかりやすいように、4技能5領域のマークを示している。	
(イ) 教科・種目別の観点	①「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の動き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	① 収録されている音声聞き取りやすく、チャンツを使って発話する活動が設定されている。学んだ表現を使っての簡単なやり取り、読む、自分自身が伝えたいことを書く、発表という展開を基本とし、5領域の技能が繋がった学習展開となっている。	① 各学年9つのユニットで構成され、聞く活動から話す活動を経て読む・書く活動へと無理なくスモールステップで学習できるように配慮されている。ユニットの初めには、映像教材でストーリーを確認することで、使用場面を明確にして表現や語彙に触れられるように工夫されている。また、各ユニットに「Response」コーナーが設けられ、基本表現に加えて、相づちや聞き返す表現にも触れることで豊かな「やり取り」への配慮がなされている。
	②小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	② 「Let's Try!」「We can!」の単元構成や単元の流れ、指導手順を踏まえ、スムーズに移行できるように配慮されている。また、アルファベット探しなど、中学年の学習内容を楽しく復習できる単元前のコーナーがある。	② 5年の「Let's start」で外国語活動からの円滑な接続を図られている。前学年までに慣れ親しんだ表現に異なる場面では出会えるように言語材料の配列を工夫してあり、重要な表現にスパイラル的に出会えるように工夫されているなど、外国語活動から円滑に接続できるように配慮されている。
	③国際理解を深めることにつながるよう、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	③ 挿絵では、性別や人種に偏りがないように配慮されている。5年生では、各国の料理、6年生では、好きな日本の文化や行きたい国を伝えあったり、世界で活躍するスポーツ選手について知ったりする活動が設定されている。様々な活動をとおして、世界各国の様子を知ることができるよう配慮されている。	③ 児童と同年代の小学生や世界で活躍する日本人の映像、様々な国の文化に触れるクイズや写真などで、児童の興味・関心を高める工夫がされている。様々な英語(World Englishes)に触れることで国際感覚を養えるよう配慮されている。日本を紹介するユニットが用意されており、日本の文化等についても取り上げられている。人種やジェンダーへの配慮がなされている。

	発行者の略号	啓林館	
	書名	Blue Sky elementary (5・6)	
<p>(ア) 教科・種目に共通な観点</p>	<p>①編集の趣旨と工夫</p>	<p>① 「教師が教えやすく、児童とともに学べる」「児童が興味をもって、みんなとついでに学べる」「保護者が子どもの成長を感じながら、子どもとともに学べる」の3点を基本方針とし、様々な人々と協働しながら持続可能な社会の担い手となる児童に必要となる資質・能力を培えるように工夫されている。</p>	
	<p>(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮</p>	<p>① 「Jingle」や「Chant」の他、聞いて活動する内容が豊富に準備され、十分なインプット・インテイクからアウトプット、リピートへとスモールステップで学習できるように工夫されている。 ② 「Review」（復習）では理解したことをもとに思考し、判断し、表現して相手に伝えられるように工夫されている。 ③ 各ユニットで異文化に関する内容を扱うことで興味や関心を高め、日本と異なる文化に触れることで、固定概念にとらわれない柔軟な考え方や人への接し方を身につけられるように配慮されている。</p>	
	<p>(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町</p>	<p>① 小田原市の目指す子ども像「未来を創るたくましい子ども」の、「自ら考え表現する力」など五つの側面に合致している。</p>	
	<p>(ウ) 内容と構成 ○ 小学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧児童の学習上の困難さに応じた工夫 ⑩ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>① 英語の意味や使い方について、児童が推測し、考え、理解できるように工夫されている。また、「Listen and Guess」や「Activity」ではやりとりや発表の機会を多く設け、理解したことを児童同士で共有したり、よいところをまねしたりして学べるように配慮されている。 ② 他教科（国語・算数・理科・社会・道徳・総合など）との関連が図られている。また、短時間学習で取り組める演習や活動が示されている他、1時間の指導の分量に余裕を持たせ、オプションの活動を取り入れやすいように配慮されている。 ③ 基礎的な語彙や表現を「Listen and Play」や「Chant」などで扱い、演習問題やコミュニケーション活動で繰り返し活用しながら身につけられるように工夫されている。 ④ 日本の伝統文化を尊重する態度を養えるよう、5年で干支や月の行事に触れるユニット、6年で各地の名所や特産物を紹介するユニットが用意されている。 ⑤ 児童の興味・関心に沿った体験的な活動を通して学習できるように配慮されている。 ⑥ 5年から6年にかけて徐々に単語や文を書く機会を増やし、中学校の学習への円滑な接続に配慮されている。また、6年の最後に中学校生活を題材に取り上げている。 ⑦ 音声や動画などのデジタル教材を使った繰り返し学習が有効な箇所には、QRコードが設置され、必要に応じて活用できるように工夫されている。 ⑧ 本文にはUDフォントを採用している。配色やイラストなどにも注意し、インクルーシブ教育に配慮している。デジタル教科書や拡大教科書を用意し、児童の様々な学習形態に対応できるようにしている。 ⑨ チャンツの文が表記されており、どこにアクセントをつけるかも明示されている。各学年8ユニットが、3つのパートで構成され、パートごとのめあてを達成していくことでユニットの「GOAL」に到達できるように工夫されている。</p>	
<p>(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>① 分量と配分は、余裕を持って進められる程度に設定されている。 ② 体裁はAB判で、「見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。」「個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です。」「この教科書は、再生紙と植物油インキを使用しています。」と表記されている。巻末にミシン目で厚紙になっており、切り取りやすい絵カードを掲載している。 ③ 問題の横に4技能5領域のマークを表示し、身につける知識・技能を明確にしている。当該学年以上の漢字にふりがながついている。</p>		
<p>(イ) 教科・種目別の観点</p>	<p>① 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の動き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>① 各学年8つのユニットで構成されており、導入からインプット・インテイク、アウトプット、振り返りの流れでスモールステップで学習できるように配慮されている。ユニットの初めには「Listen and Guess」が用意されており、推測しながら聞くことから始めて意味への気付きや確認をしながら学習を進められるように工夫されている。ユニットとユニットの間には「Let's Read and Write」が用意され、読むことと書くことへの配慮もなされている。</p>	
	<p>② 小学校外国語活動との関連した構成となるよう、外国語活動で扱った音声や表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>② 5年の巻頭に「Pre Unit」を設け、中学年からの橋渡しとなる内容を取り上げている。巻末には外国語活動で学習した単語を「Word List」にまとめ、振り返ることができるように配慮されている。「Let's Try!」で学習した語彙・表現も取り上げ、繰り返し学習により定着できるように配慮されている。</p>	
	<p>③ 国際理解を深めることにつながるよう、世界の人々や日本人のくらしや、歴史、文化、自然などが、児童の発達段階や興味・関心に即して取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。</p>	<p>③ 演習問題や「Did you know?」で日本と異なる外国の言語的・文化的な内容への気付きを促すよう配慮されている。日本の行事や干支を取り上げたり、日本を紹介したりするユニットが用意されており、日本の文化等への理解にも配慮されている。人種やジェンダーへの配慮がなされている。</p>	